

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公開番号】特開2008-201119(P2008-201119A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-192846(P2007-192846)

【国際特許分類】

B 4 1 L 13/18 (2006.01)

B 4 1 L 13/16 (2006.01)

【F I】

B 4 1 L 13/18 N

B 4 1 L 13/16 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月24日(2010.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

孔版を支持し、回転可能に支持された孔版胴と、

前記孔版胴内に位置し、印刷時、前記孔版の内周面に接して前記孔版胴内に蓄えられたインキを前記孔版の孔を介して被印刷物に刷り移すと共に、印刷停止時、前記孔版の内周面から離れるインキ刷り移し部材と、

を備えた輪転式孔版印刷機において、

前記インキ刷り移し部材の前記孔版の内周面に対する着脱及び着位置調整をモータで行うこととする輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整方法。

【請求項2】

前記インキ刷り移し部材の前記孔版の内周面に対する着脱の為の原点位置が調整可能であることを特徴とする請求項1記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整方法。

【請求項3】

前記原点位置と脱位置の相対位置が一定であることを特徴とする請求項2記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整方法。

【請求項4】

前記原点位置と前記着位置の相対位置が調整可能であることを特徴とする請求項2記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整方法。

【請求項5】

前記原点位置と前記着位置の相対位置が、オペレータによる着位置調整量に応じて変化することを特徴とする請求項4記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整方法。

【請求項6】

前記インキ刷り移し部材の前記孔版の内周面に対する着脱の為の原点位置を調整した後の前記インキ刷り移し部材の前記孔版の内周面に着した状態の前記輪転式孔版印刷機の総回転数を計測し、

前記計測した輪転式孔版印刷機の総回転数に応じて前記インキ刷り移し部材の前記孔版

の内周面に対する着位置を調整すること

を特徴とする請求項1記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整方法。

【請求項7】

孔版を支持し、回転可能に支持された孔版胴と、

前記孔版胴内に位置し、印刷時、前記孔版の内周面に接して前記孔版胴内に蓄えられたインキを前記孔版の孔を介して被印刷物に刷り移すと共に、印刷停止時、前記孔版の内周面から離れるインキ刷り移し部材と、

を備えた輪転式孔版印刷機において、

前記インキ刷り移し部材の前記孔版の内周面に対する着脱及び着位置調整を行うモータと、

前記モータを駆動制御する制御手段と、

を備えたことを特徴とする輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整装置。

【請求項8】

前記制御手段により、前記インキ刷り移し部材の前記孔版の内周面に対する着脱の為の原点位置が調整可能であることを特徴とする請求項7記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整装置。

【請求項9】

前記制御手段により、前記原点位置と脱位置の相対位置が一定であることを特徴とする請求項8記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整装置。

【請求項10】

前記制御手段により、前記原点位置と前記着位置の相対位置が調整可能であることを特徴とする請求項8記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整装置。

【請求項11】

前記制御手段により、前記原点位置と前記着位置の相対位置が、オペレータによる着位置調整量に応じて変化することを特徴とする請求項10記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整装置。

【請求項12】

前記制御手段は、前記インキ刷り移し部材の前記孔版の内周面に対する着脱の為の原点位置を調整した後の前記インキ刷り移し部材の前記孔版の内周面に着した状態の前記輪転式孔版印刷機の総回転数を計測し、前記計測した輪転式孔版印刷機の総回転数に応じて前記インキ刷り移し部材の前記孔版の内周面に対する着位置を調整することを特徴とする請求項7記載の輪転式孔版印刷機のインキ刷り移し部材位置調整装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0161

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0161】

次に、前記ステップP233でスキージの左側の現在位置検出用カウンタのカウント値<目標とするスキージの左側位置検出用カウンタのカウント値か否かを判断し、可であればステップP236で左側調整用モータ回転方向記憶用メモリM12に1を上書きした後、ステップP237で左側調整用モータ・ドライバ68に正転指令を出力してステップP238に移行する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0211

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0211】

次に、ステップP339でスキージの左側の原点位置（カウンタのカウント値）をメモ

リM 2 から読込んだ後、ステップP 3 4 0 でスキージの左側の現在位置検出用カウンタ70のカウント値よりスキージの左側の原点位置（カウンタのカウント値）を減算し、左側のカウント値差を演算して、メモリM 3 に記憶する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 4 4】

次に、前記ステップP 4 1 2 で可であればステップP 4 1 3 で左側調整用モータ・ドライバ68への逆転指令出力を停止してステップP 4 1 1 に移行する一方、否であればステップP 4 1 5 に移行する。次いで、ステップP 4 1 1 でカウント値SをメモリM 1 1 から読込んだ後、ステップP 4 1 4 でメモリM 1 1 のカウント値Sに1を加算し、上書きする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 4 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

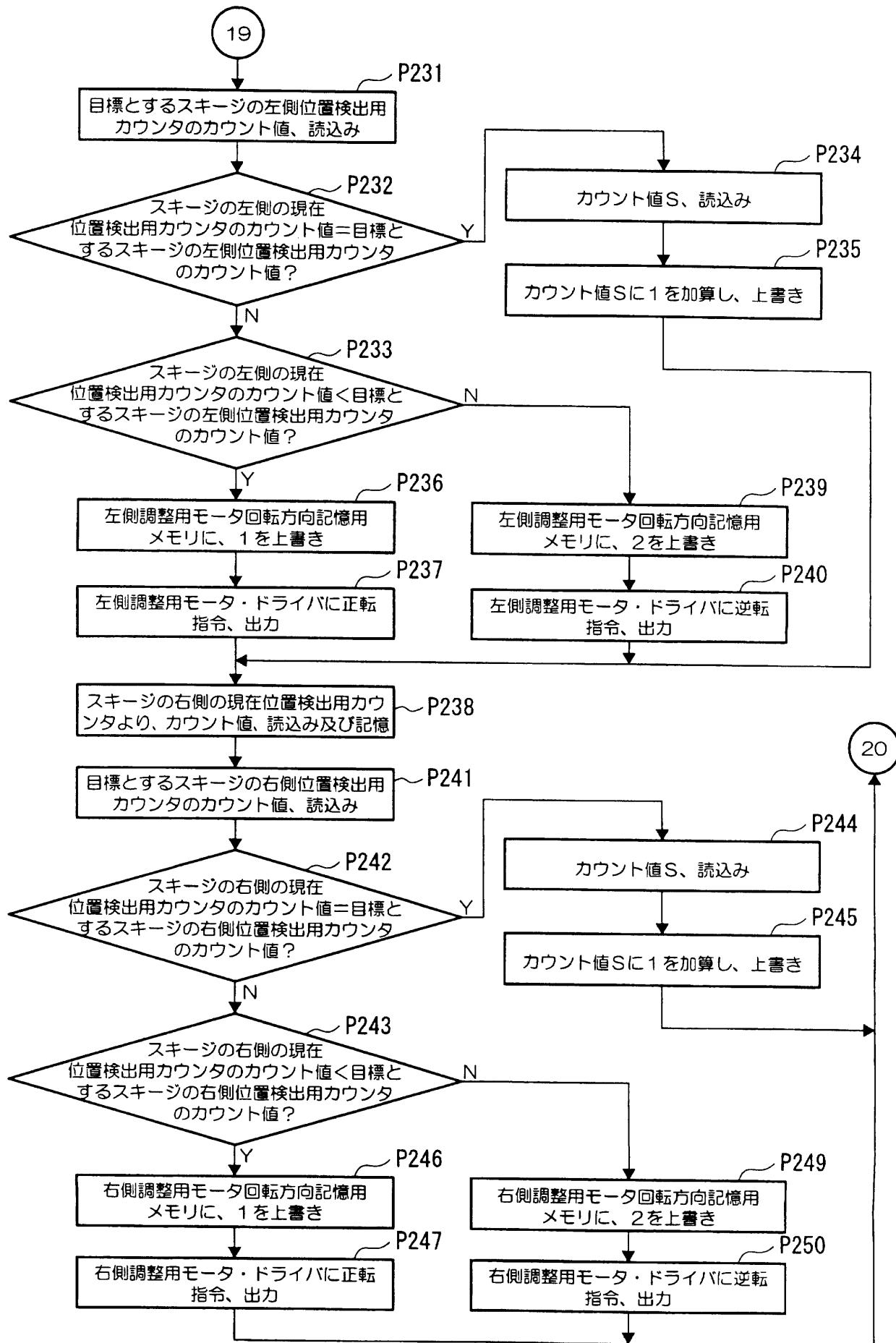
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図10(b)

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 10 (b)】



【手続補正7】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図11(d)

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 11 (d)】

